



帯広協会病院 地域医療連携ニュース



特集1 小児科

出張診療・専門外来・コロナウイルス対策

特集2 発熱外来

ご案内・ご紹介手順など



専門外来のご案内

《循環器外来》 担当 青柳副院長・松岡医師

生まれつきの心臓病をはじめ、学校検診で精査対象となった。心雑音に気づいた。など小児の心臓に関する診療を行っています。

《神経外来》 担当医師 青柳副院長・小児科医師

けいれん性疾患、発達の問題などを診療を行っています。

《腎臓外来》 担当 加藤医師

学校検尿で精査対象になった。ネフローゼ症候群ではないかなど、小児の腎臓に関する診療をおこなっています。

《内分泌外来》 担当 渡邊医師

成長の相談、ホルモンの病気が疑われる、糖尿病などの診療を行っています。

《大学からの専門医外来》

内分泌、神経、腎臓（1 x /3月）、血液（1 x /月）の分野で専門医による外来を行っています。（出張医師：田島敏広医師、斎藤伸治医師、岡本孝之医師、小林良二医師）

女性医師が充実しています

産休中でした渡邊医師ですが、9月より復帰いたします。小児内分泌を専門としていますので成長の相談、ホルモンの異常などが疑われましたら、ご紹介ください。

また、今年度は3名の女性医師が在籍しております。思春期における女性の問題や母性の問題など、対応しやすくなっております。

新型コロナウイルス対策について

急性疾患の多い小児科ですが、院内滞在時間を減らすため、一般外来においても予約制を導入しました。患者様よりお電話いただければ来院前に予約がすることができます。医療機関様からの予約の場合は、地域連携室へお申込みください。また状況は限られますがオンライン診療を開始しています。慢性疾患の症状安定期、発疹の確認などに有効かもしれません。

出張診療のご案内

以前より、足寄にあります「ホームケアクリニックあづま」にて毎週火曜日午前中（前日が休日の場合は休診）に出張診療を行っております。十勝北部で診療されている先生方、小児診療でお困りのことがございましたら、ご利用いただけますと幸いです。



上段左より 伊藤詩織医師 山本朝日医師 藤重医師
下段左より 松岡主任医長 加藤晶医長 青柳副院長

発熱外来のご案内

当院では2020年3月2日から新型コロナウイルス感染症対策として「発熱外来」を開設しております。

当院受診の一般外来患者と発熱外来受診患者の交差を避けるため「時間」「場所」「人（職員）」を区分けして対応しております。

そのため、「発熱外来」は完全予約制となっておりますので、ご紹介患者さんがおられましたらまずはお電話での御一報をお願いいたします。

院内ラボの強みを生かしてSARS-CoV-2検査を実施する体制を整え、5月には行政検査委託施設として道と契約を結んでおります。

ご紹介手順

COVIDを疑う場合

- 呼吸器症状の重症度が高い方については保健所に一度ご相談ください。
- 直接来院はしないよう患者さんにご説明をお願いします。



協会病院へ電話 0155-22-6600

- 平日9:00～14:00電話受付
- 電話交換に「発熱外来受診患者紹介」とお伝えください
- 医師からのお電話はDr to Drでお受けします。
- 医師以外のお問い合わせは「発熱外来トリアージ担当」が対応いたします。



患者さんから協会病院へ電話 「発熱外来受診希望」

- 患者さんにも協会病院に「発熱外来受診希望」で一度お電話頂くよう説明をお願いします。
- 患者さんへ発熱外来受診方法の説明を致します。
- 電話にて問診を致します。

- 患者名
- 生年月日
- 症状
- 行動歴
- 接触歴
- 携帯番号など



東側駐車場に設置された医療用陰圧テント



陰圧テント室内



COVID患者受入れ訓練



ICTラウンド

院内感染対策室より

当院では、院内感染制御チーム（ICT：infection control team）が、感染に関する迅速・的確な情報収集・分析・対策の検討・職員伝達・評価を行っています。病院長直属の実働部隊として、感染を未然に防ぎ、発生した感染症が拡大せず速やかに制圧するよう、患者さん・ご家族・来院者・職員・病院に関わる全ての人を感染から守るため日々努めております。

地域の医療機関からの感染対策に係るご相談もお受けしております。窓口の感染対策室（E-mail：aya.y@obihiro-kyokai-hsp.jp）にご連絡ください。

地域の諸先生から安心して患者さんをご紹介頂ける体制作りにもこれからも尽力いたします。院内感染対策室 室長 山下 亜矢



PICK UP

がん患者サロン「えぞりすカフェ」

帯広協会病院のがん患者サロン「えぞりすカフェ」は、がん患者や家族同士が様々な疑問や悩みなどを語り合うことができる場として、2015年11月から月1回第1土曜日 10:00～11:30に当院3階講堂にて開催しています。

コロナウイルス感染拡大防止のため、今年3月は開催自粛し、4月は通常通り開催しました。休会することも考えましたが、外出自粛などのため不安な思いをしている方も多く、こんなときだから人と話すことが必要と考え、5月以降はZoomを活用した、オンライン開催としています。オンラインにしたことで、参加できなくなってしまった方もいらっしゃいますが、オンラインの利点を活かし、札幌や釧路、遠くは関東など十勝以外からの参加者がいることが特徴となっています。

毎月テーマを決めて談話をし、参加者からは「なかなか人と会ってゆっくり話をすることが難しくなり、塞ぎ込みがちだったが、話を聞いてもらえたり、人の話を聞いてよかった」「温かい雰囲気ですぐに元気になれた」等の感想をいただいております。

「えぞりすカフェ」は、帯広協会病院の通院の有無や十勝管内在住かどうかは全く関係なく、どなたでも参加できますので、病気療養の悩みを抱えている方がいらっしゃれば、ご紹介ください。話を聞くだけでも構いません。

開催日時：毎月第1土曜日 10:00～11:30

場所：当面はオンライン開催（Zoomを使用）

文責：帯広協会病院 がん相談支援センター
医療ソーシャルワーカー
医療福祉相談係 係長 田巻憲史



CLOSE UP



「花の鑑賞は心身の ストレスを緩和する」

4年ほど前より「来院して頂いた患者様に喜んで頂きたい」「少しでも気持ちが癒されれば」と思い正面玄関前のロータリーを整備し花壇にしました。現在は、他の職員からの協力も得て、数種類の宿根草や1年草が次々と花をさかせています。研究結果でも花にはストレスホルモン（コルチゾール）を下げる効果あるといわれていますので、帯広協会病院に来られた際は、ぜひ！お花もご覧になってみてください。

副院長 青柳 勇人

社会福祉法人
北海道社会事業協会 帯広病院 (通称)帯広協会病院
〒080-0805 北海道帯広市東5条南9丁目2番地

<地域医療連携ニュース With編集>
地域医療福祉連携室 竹林佳美
画像診断科 工藤純一

病院代表電話
0155-22-6600
地域医療福祉連携室FAX
0155-22-6620
地域医療福祉連携室メール
chiren@obihiro-kyokai-hsp.jp